

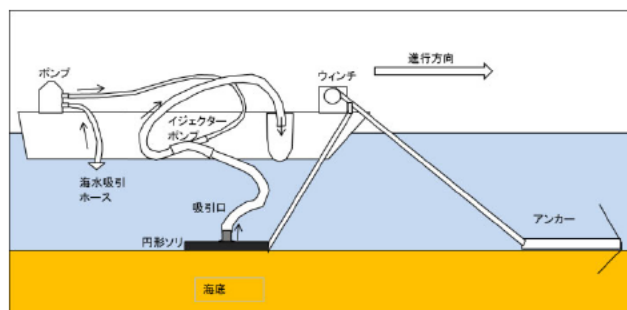
天然アサリ稚貝の回収装置を用いた 稚貝の大量移植

伊勢湾のアサリ主要漁場では、大量発生した稚貝が漁獲前に台風などにより大量へい死する事例が確認されており、その保全と有効利用に期待が寄せられています。

研究所は、国立研究開発法人水産総合研究センターなどが開発した天然稚貝の回収装置を用いて、稚貝を大量回収し、アサリの生き残りの良い場所へ大量移植しました。その結果、良好な生残・成長を確認することができました。

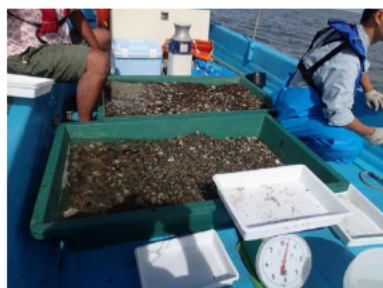


伊勢湾のアサリ稚貝
(殻長10~15mm)



上図:回収装置の概要

右写真:回収装置を取り付けた作業船



回収した稚貝



稚貝の放流風景

この回収装置を使えば、少人数でも短時間で大量の稚貝を回収できるため、今後、本装置を用いた稚貝の有効活用が期待されます。



三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

Mie Fisheries Research Institute

〒510-0243 鈴鹿市白子1丁目6277-4

TEL (059)386-0163

FAX(059)386-5812